



大阪・関西万博 関西広域連合パビリオン共同出展に関する  
基本構想事務局案について

令和3年3月25日  
大阪・関西万博担当  
(本部事務局)

関西広域連合でのパビリオン共同出展について、構成府県市事務局、アカデミア等へのヒアリングによるアイデア出しを踏まえ、事務局において、別添のとおり基本構想案を作成した。

1 テーマ

いのち輝く関西悠久の歴史と現在

2 出展で目指すもの

- ①万博会場に居ながらにして「関西各地を体験」し、「各地の観光、移住、企業進出」につなぐ。
- ②パビリオン内の催しにより「関西各地のNo.1」に触れる。

3 出展の特徴

- ①域内の多彩なメンバーが参画可能（コンテンツ制作、物販、運営等）
- ②域内のアカデミアや企業等に出展の機会を提供
- ③安価な総額経費で最新の技術体験を提供
- ④府県市の独自出展ニーズに対応して出展スペースを準備

4 今後のスケジュール

3月～8月

- ・有識者も参加する万博参画検討タスクフォースで検討（展示運営に関する詳細検討）
- ・パビリオン建設・運営の組織体制検討

8月

- ・広域連合委員会にパビリオン原案の最終報告
- ・広域連合委員会でパビリオン出展を決定

9月

- ・博覧会協会へパビリオン出展を伝達



# 大阪・関西万博 関西広域連合パビリオン 基本構想事務局案

## 目次

大阪・関西万博の計画概要・関西広域連合パビリオンの位置	1
関西広域連合パビリオン出展の意義	2
関西広域連合パビリオンの考え方	3
関西広域連合パビリオン展示概要	4
関西広域連合パビリオンイメージ	5

# 大阪・関西万博の開催概要 関西広域連合パビリオン設置予定地

## 名称

2025年日本国際博覧会  
(略称「大阪・関西万博」)

## テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

## 会場

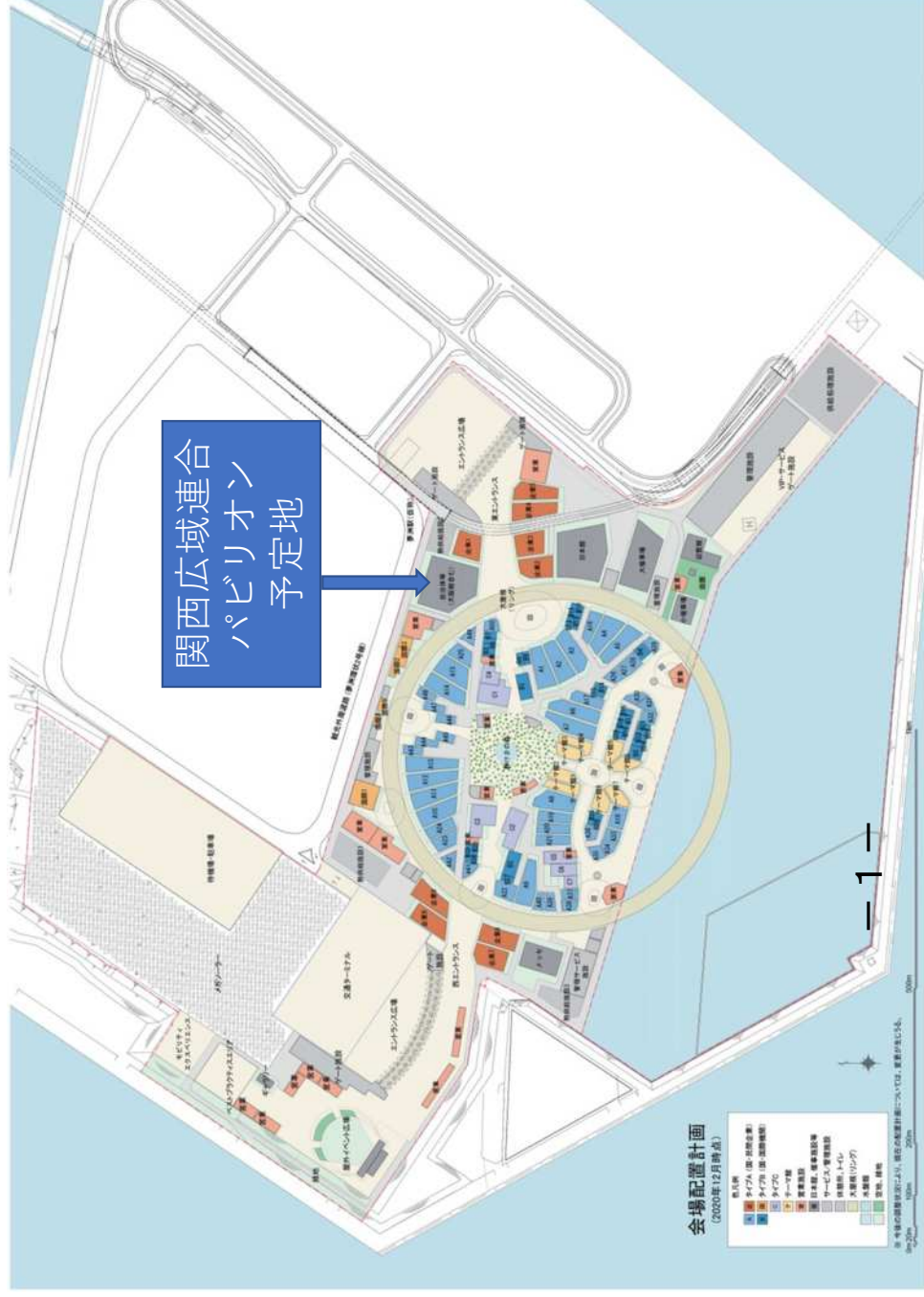
夢洲（大阪市臨海部）

## 開催期間

2025年4月13日～10月13日  
(184日間)

## 来場者数（想定）

約2,820万人



# 関西広域連合パビリオン出展の意義

## 背景

- 大阪・関西万博は日本として、20年ぶりの3回目、関西では55年ぶり2回目の登録博であり、関西の魅力を発信する絶好の機会となる。
- 大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」は、太古から、いのちを繋ぎ、悠久の歴史を紡いできた関西との親和性が高い。
- 大阪・関西万博の効果を、関西の一元に波及させる必要がある。

## パビリオン出展による効果

- 万博会場の来場者は2,820万人(海外350万人)が想定されるが、来場者にバーチャル体験等を提供し、直接的に関西一元の魅力を発信することが可能
- 万博会場から来場者を現地に誘導するゲートウェイ機能を発揮

# 関西広域連合パビリオン出展の考え方

テーマ 　　いのち輝く関西悠久の歴史と現在

ねらい 　　○万博会場に居ながらにして「関西各地を体験」し、  
「各地の観光、移住、企業進出」につなぐ。  
○パビリオン内の催しにより「関西各地のNo.1」に触れる。

特徴  
○域内の多彩なメンバーが参画可能（コンテンツ制作、物販、運営等）  
○域内のアカデミアや企業等に出展の機会を提供  
○安価な総額経費で最新の技術体験を提供  
○府県市の独自出展ニーズに対応して出展スペースを準備

# 関西広域連合パビリオン展示概要

## 展示内容

- 関西の現在・過去・未来を疑似体験
- 関西各府県市の情報（観光・国際観光・文化・産業・生活等）を出展。
- 関西と関西各地の体験・販売（万博の駅）等のイベントも同時開催

## 展示方法

- 最新デバイスにより万博会場に居ながら関西各地を体験
- 共通スペースで関西共通の情報と体験を提供し、各府県市出展へ誘導
- 万博会場内での府県市イベントの拠点
- 会場外からもパビリオンコンテンツにアクセス可能（機能は限定）
- アカデミアや企業等が出展できるスペースを提供

# 関西広域連合パビリオン イメージ

パビリオンの規模

敷地面積 約1,800㎡ 建物面積 約1,200㎡

■平面図 (掲載サイズ縮尺1:200)

